

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	確固たる宇治ブランドの確立プロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は高級茶の代名詞である宇治茶や世界遺産の平等院、宇治上神社、源氏物語など観光資源は充実しているが、リピーター率は低く、交流人口の増加が課題となっている。                      そのため、宇治茶のブランド力向上、源氏物語のまちづくりを進めるとともに、魅力的な資源の発掘、創造により宇治ブランドを確立し、宇治の魅力について情報発信していく必要がある。                      加えて、関係機関と連携のもと、「お茶の京都」に関連する事業を実施することで、宇治に新たな人の流れをつくっていく必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>「宇治茶」「源氏物語」にとどまらず、魅力的な資源の発掘、創造により宇治ブランドを確立し、人口減少による自治体間の競争にも耐えうるような確固としたものにする。                      さらに、「選ばれるまち」として交流人口を増やし、定住人口の減少に歯止めをかけるため、「住みたい思いの醸成」を実現するための施策を実施する。</p>						
	総事業費（千円）	103,596	本年度事業費（千円）	103,596	交付金額（千円）	16,464	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	宇治の魅力の深化事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園関連の整備を進めることで、文化や歴史などの資源の活用による魅力向上（深化）を目指す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園史跡発掘調査関連事業ほか</li> <li>（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園（Aゾーン・Bゾーン）整備工事ほか</li> </ul>		
	宇治茶ブランド化事業	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内産宇治茶のブランド化等を通じ、本市のブランド化の向上、さらなる魅力発信を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種茶品評会入賞点数：46点</li> <li>各種茶品評会出品点数：81点</li> </ul>		
住民 協働 事業	宇治の魅力の深化事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化や歴史などの資源の活用による魅力向上（深化）を目指す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>景観に著しく寄与する施設整備、改善に対し助成 景観形成対策費補助金補助件数：3件</li> <li>京都府南部卸売市場のリニューアルに要する経費に対し助成</li> </ul>		
	魅力発信プラットフォーム 運営等事業	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力発信プラットフォームによる活動を通じ、市民がまちに愛着を持つための取組を推進する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力発信事業実施回数：2回</li> </ul>		
住民が 取り組む 事業							

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	各種茶品評会入賞点数 45点		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	46点
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ②	成果指標の目標数値	各種茶品評会出品点数 80点		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	81点
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	源氏物語ミュージアム来館者数 120,000人		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	91,136人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	施設の大幅リニューアルを次年度に控えていたことが影響し、当初の目標を達成することができなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	①②宇治茶のブランド力の向上、魅力発信に大きく寄与している。 ③国内外から多くの利用者が訪れ、宇治の魅力発信を図ることができた。 H30年度は源氏物語ミュージアムの大幅リニューアル、源氏物語に関するアニメ映像作成等を予定しており、来館者数の増加を見込むことができ、さらなる宇治の魅力発信に寄与することが期待できる。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・全国各地から多数の方が訪れ、特産品のPRができ、地元産業の振興を図ることができた。また、宇治茶を活用した事業を展開することで、宇治のさらなる魅力発信に寄与することができた。 ・また開催にあたり各種団体との連携・協力を行なったが、今後の新たな事業でもその時の団体同士の繋がりを活用していくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	・「お茶の京都」と連携した取り組みとして、宇治市茶のブランド化や普及宣伝を通じ、宇治茶の魅力発信、PR等の効果拡大を図ることができた。			
	住民の自治意識を高める成果	・商店街等の取組みを通して、地域住民が地元の名産品や伝統工芸などの良さに関心を持つことができるようになるとともに、各々の事業が地域を活性化させ、地元での消費拡大の一端を担っている。 ・市内の高校に通う高校生に、宇治市の魅力や施策に関する情報発信に携わってもらうことで、宇治への愛着を高めることができた。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	・「お茶の京都」と連携し、宇治市茶のブランド化や普及宣伝を行うことで、宇治茶のさらなる魅力発信、PR等の効果拡大を図ることができた。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・高品質な宇治茶を生産することで、市内産宇治茶の普及促進につながった。</li><li>・（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備を行うことで周辺地域と連携した観光振興や地域振興をさらに進めることができた。</li><li>・京都府南部総合地方卸売市場の低温化・加工処理高度化施設の整備及び耐震補強工事に対して支援し、農産物の集荷、販売機能の改善を図った。</li></ul>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生プロジェクト		実施期間	平成29年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>魅力あるまちとなるためには、市民の主体的な関わりが重要であるが、近年の少子高齢化等の進展に伴い地域コミュニティの希薄化等の解消が課題となっている。</p> <p>そのため、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがい創生により、市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、市民自らが魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治への愛着から定着促進につなげていく必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>宇治に住み続けたいという思いへとつなげるため、子供への「宇治学」のさらなる充実をはじめ、市民に宇治の魅力を再認識してもらう取組を進めるとともに、市民自らがふるさと宇治を創生するため、行政だけでなく市民参画・協働による魅力ある宇治市を実現するための施策を実施する。また、誰もがいきいきと暮らすことは、まちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康寿命日本一を目指した取組を進める。</p>							
	総事業費（千円）	22,327	本年度事業費（千円）	22,327	交付金額（千円）	8,501		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	誰もがいきいきと暮らせる宇治づくり推進事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信プラットフォームによる活動を通じ、市民がまちに愛着を持つための取組を推進する。</li> <li>・小中学生を対象に年齢が近く相談のしやすい臨床心理学専攻の大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を派遣。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信事業実施回数：2回</li> <li>・心と学びのパートナー対応人数：1,919人</li> </ul>				
	多世代交流促進事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流を促進し、高齢者の生きがい創設、若い世代への伝統の継承により、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者アカデミー受講者数：71名</li> </ul>				
	交通環境等充実事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通環境を整備することで、人・物の交流を促進し、まちの活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での交通手段確保のための支援等を実施</li> <li>明星町レインボウバスへの支援</li> <li>西小倉のりあいタクシーの支援</li> <li>バスロケーションシステム導入の支援</li> </ul>				
	安心・安全まちづくり推進事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動時に必要な装備を整備し、消防力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学防護服5着、トレーニングスーツ2着の購入</li> </ul>				
住民 協働 事業	市民協働・参画によるふるさと宇治創生事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の魅力発信に取組むため、市民参画・協働によるふるさと宇治を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区まちづくり協議会の認定：1件</li> <li>地区まちづくり協議会パネル展の開催：1回</li> <li>うじ井戸端会議の開催：2回</li> <li>まちづくり審議会の開催：1回</li> <li>・地域の自主防災組織の活動等の支援</li> <li>自主防災組織率：72.5%</li> </ul>				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	魅力発信プラットフォームによる魅力発信事業数 2回		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	2回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	愛着醸成に向けた魅力発信事業の取組が進められている。今後も、様々な活動を通じた事業を展開していきたい。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	自主防災組織率 75.0%		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	72.5%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標は達成できなかったが、自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができた。町内会が結成されていない地域での防災力向上ができていない等の課題がある。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	高齢者アカデミー参加者数 74名		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	71名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標を達成することはできなかったが、今後も参加者の増加を目指し、広報等を積極的に行う。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>①継続実施することで、市民、学校等と市の連携を深め、市のさらなる魅力発信につながった。</p> <p>②自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができた。今後も自主防災組織への補助事業を実施するとともに、市職員による防災出前講座や宇治市防災訓練、地域での防災訓練等への市職員の派遣等により、自主防災組織率の上昇に努めたい。</p> <p>③高齢者アカデミーの開講により、高齢者の交流機会の創出と生きがいつくりの促進を図ることができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果		「宇治で学ぶ」「宇治を学ぶ」「宇治のために学ぶ」をコンセプトとした宇治学を推進することで、市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、宇治への定着促進を図ることができた。		
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり活動への支援を通じて、担い手のスキルアップに努めた。</li> <li>・住民主導による自主防災活動等の取組に支援することで、防災意識の啓発・防災体制の強化につながった。</li> <li>・高校生主体の魅力発信イベントを開催するなど、宇治の魅力を多くの市民が実感できるように様々な世代の視点を活かした取組を展開した。</li> </ul>		
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

行財政改革に資する成果	・来たるべき超高齢社会に備えた新しい事業を開発し、団塊の世代の社会参加を促すことで、団塊の世代のニーズに対応した効率的、効果的な新たな施策の展開へつないでいくことができた。
その他の成果	源氏物語のまちづくりや宇治川の鵜飼等、現在宇治市にある魅力を市民および国内外に広く発信することで、宇治への愛着の醸成を図ることができた。

## （記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	地域経済の活性化づくりプロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	東京への一極集中を是正し、本市において安定した雇用を生み出すために、地域経済の活性化を図るとともにまちとともに元気に成長する多様な企業が存続できるような新たな産業を振興する。 なお、安定した就労環境は、結婚、子育て、など自然増加を促していく要素において重要な条件であることも京都府が実施した少子化要因実態調査によって確認されていることから、本市においては安定した雇用創出を図る。						
プロジェクトの目的及び概要	本市に内在する地域資源を発掘し、磨くことで若い世代にもアピールできる魅力的な地域産業づくりに取組むとともに、就業に必要な技能等の習得を支援するなど、企業が求める人材の育成と雇用機会の拡充を図る。						
	総事業費（千円）	21,927	本年度事業費（千円）	21,927	交付金額（千円）	4,921	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	産業活性化事業	交付対象事業	・市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進する ・創業初期の経営安定化、地域経済の活性化を目的とした補助を行い、市内の産業活性化につなげる。		・中小企業の創業に係る支援 支援実績：5社 ・市内の中小企業を対象に展示会への出展に要する経費を助成：4件		
	宇治茶活用事業	交付対象事業	・宇治茶を活用することで、本市の地域活性化を図る。		・宇治茶祭奉賛会の活動支援に係る補助金：1件		
	雇用促進事業	交付対象事業	・中小企業の人材確保と若者の雇用支援を目的とした、市主催の市内中小企業合同説明会を開催。		・市内中小企業合同説明会の開催：1回		
	新規就農者定着促進事業	関連事業	・就農のための研修に要する経費を助成することで、新規就農者の定着を推進する。		・新規就農者確保のための助成を行う		
	ベンチャー企業育成支援事業	関連事業	・育成工場入居工場及び市内企業に対する支援等を実施。		・育成工場入居工場及び市内企業に対する支援：518件		
住民協働事業							
住民が取り組む事業							
成果指標①	成果指標の目標数値	中小企業の創業に係る支援 5社		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	5社		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標を達成できたため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	市内中小企業合同説明会の開催 1回			成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	1回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標を達成できたため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	①市内の創業者を支援することにより、創業初期の経営安定課・地域活性化を図ることができた ②市内の雇用促進を図ることができたため、今後も継続して実施していく。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・就農に関する助成を行うことで、新規就農者の定着を図ることができた。 ・育成工場入居工場及び市内企業に対する支援等を通じ、市内企業の育成による市経済の活性化を図ることができた。				
	府と市町村等との連携に資する成果	・中小企業合同企業説明会開催時に、府・京都ジョブパークと共催することで、市内企業を宇治市内外にアピールし、集客することができた。				
	住民の自治意識を高める成果					
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	・中小企業合同企業説明会のPRを各種広報媒体・大学を通じて行った結果、府外からの求職者の集客にもつながった。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果	・市内産農産物を活用した講座を開催することで、地産地消の意識の啓発並びに市内産農産物の普及促進を図ることができた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。



みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかかなえる環境づくりプロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	京都府が実施した少子化要因実態調査によれば、本市が属する山城北地域の在住者の結婚意向は強いことが分かるが、雇用問題や出産・育児に対する不安から未婚者の増加、少産化が問題となっている。したがって、結婚意向を後押しするような施策を用いて、宇治市で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた支援を実施し、子どもが輝く未来の宇治市を築いていく必要がある。						
プロジェクトの目的及び概要	合計特殊出生率が低い原因は第一に未婚者が多いことの影響が強いとされ、少産化も原因のひとつとして考えられている。さらに不安定な雇用が多いことも結婚の妨げとなっていることから、結婚から子育てまでを支える体制の構築と生活の安定が必要となる。結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援と、地域で子育てを支える新しい仕組みづくりに取組むとともに、若者の安定的な雇用の確保を図り、子育てを担う若者が安心して希望する出産・育児を行うことができる環境を整備する。						
	総事業費（千円）	181,729	本年度事業費（千円）	181,729	交付金額（千円）	87,407	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	結婚・出産支援事業	交付対象事業	・宇治で出産、育児をしたいと思える環境の整備ため、健診時に絵本の読み聞かせや遊び方を指導するとともに、年齢に応じた絵本を贈り、絵本を通して、コミュニケーションを図る。		・3か月児健診配布数：1,247人 ・1歳8か月児健診配布数：1,328人		
	子育て支援環境充実事業	交付対象事業	・子育て世代の情報発信の充実を図るための様々な取組を実施		・子育て支援に係る情報誌並びにメッセージカード等を配布		
	保幼小中の連携教育推進事業	交付対象事業	・就学前教育の充実と小・中学校の連携を図る。		・小中一貫教育運営教員の配置を通じた、連携教育推進に係る体制整備を実施		
住民 協働 事業	学習環境等充実事業	交付対象事業	・市内大学と連携した教育の実施、専門家支援チームの設置を行う。 ・生活困窮者等の子どもとその保護者に対して個々の世帯の置かれている生活環境を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談・支援等を行う。		・教育的支援を要する児童への支援体制を確保 ・理数系教育の底上げを図るため調査研究を実施 ・スクール・サイエンス・サポート実施校数：7校 ・宇治市の生活困窮者等の子どもの学習支援事業 事業回数：75回		
	地域等協働子育て環境充実事業	交付対象事業	・市民との協働による地域で子育てを支える仕組みづくりを構築し、安全・安心な教育・保育環境の確保のため、見回りやカメラの監視等により不審者対策等を実施する。		・安全安心な育成学級の運営確立のため育成学級に安全運営支援員を配置 ・保育所等安全運営支援員の配置を、公立保育所（7園）、民間保育所・認定こども園（19園）及び分園（2園）で実施し、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた ・小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計149名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,734回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	スクール・サイエンス・サポート実施校数 5校	成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	7校	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)		
	成果指標の達成状況	(左の理由)	(時期)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	理数系教育の底上げを図るため調査研究として、京都大学宇治キャンパスと連携した公開ラボを小学校2校、出張ラボを中学校4校の部活で、また小学校1校で出張ラボを実施ができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路危険箇所の安全対策事業を進め、通学中の児童・生徒及び一般歩行者等の安全を確保ができた。</li> <li>・ 3か月児健診、1歳8か月児健診の受診児を対象に絵本の配布や中央図書館の絵本ボランティアの協力による絵本の読み聞かせの実施など、親子が絵本を介して触れ合うことにより、子育てが楽しくなるきっかけを作り、健やかな親子の関係づくりを促進することができた。</li> </ul>			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所等安全運営支援員に地域の有償ボランティアを活用することで、地域住民のボランティア活動への参画促進や地域の安全対策についての意識の向上を図ることができた。</li> </ul>			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 宇治市

	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活困窮者等の子どもとその保護者に対して個々の世帯の置かれている生活環境を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行うことにより、学習習慣の定着を深め、自立の促進を図ることができた。</li><li>・教員研修や小学校の施設訪問、小中学生の理科教室など様々な取組により、児童生徒の科学に対する興味・関心や、疑問に思ったことを追及する学びの意欲などの学力向上の意識を高めることができた。</li></ul>
--	--------	--

## （記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。